

2025年12月3日

体験支援 現場レポート

当財団では2025年9月から、埼玉県下の生活にお困りの子育て世帯を対象にした「体験の機会の場の提供」を開始いたしました。周りの環境によって子どもが得られる体験に格差が生じる体験格差。学校外での体験をほとんどできていない子どもも存在し、体験の有無が、子ども達の将来に私たちが想像する以上に深刻な影響を与えているのかもしれません。日常とは違う体験が、子ども達に自信や可能性を感じる機会となり、様々な体験活動を通して、生きていく上で重要な内面的な能力を育むことができるきっかけになるような、子ども達がワクワクするような体験提供を支援してまいります。

ヤオコーファームでの体験提供 2025年11月29日

野菜収穫体験では、食べものの大切さを知り、自然や人への感謝を育む体験について学びます





土に手を突っ込むたびに笑いが止まらないわたし



みんなでじゃがいもを掘り出します



料理の説明とクイズも！ 大根がおでんに、じゃがいもがポテトフライに、かぶが冷製スープに！



埼玉県内の子ども食堂やフードパントリーを利用されている親子 34 名を対象に、熊谷の圃場で野菜収穫体験を実施しました。当日は JTB 様手配のバスで移動し、畠では季節の野菜を自分の手で収穫するひとときを楽しんでいただきました。昼食には、収穫した野菜を使った料理をご提供しました。この体験提供では、ヤオコーアーネ・熊谷デリカ・生鮮センター・社員食堂・SPA 推進部・品質管理・ロジスティクス推進部など、さまざまな部門が協力し、おでん、ポテトフライ、冷製スープ、かぶの葉のバターソテーなど、子どもたちにも人気のメニューが揃いました。料理紹介やクイズの時間もあり、未就学のお子さまが多かったことから、安心して過ごせるようキッズスペースも設けました。出入口ではヤッパーが登場し、参加者を出迎えるサプライズも。終始和やかな雰囲気の中、笑顔が広がる一日となりました。